

平成30年度 第2回 南海医療センター地域協議会 議事概要

【日時】平成31年3月28日（木） 14時～15時

【場所】南海医療センター 管理棟3階 大会議室

【議題】1. 新病院建設の進捗状況について
2. 平成31年度の診療体制について

【出席者】

(外部委員)

行政代表者	大分県南部保健所 健康安全企画課長補佐（総括）	那須 祐介 様
行政代表者	佐伯市福祉保健部健康増進課長	松下 裕安 様
医師会代表者	一般社団法人佐伯市医師会長	島村 康一郎 様

計3名

(南海医療センター)

院長	森本 章生	
総看護師長	告吉 ゆかり	
事務長	神崎 啓慈	
地域連携室長	山田 淳子	
主任医療社会事業専門員	古木 和美	計5名

【概要】 議題1 「新病院建設の進捗状況」について

2階床部分のコンクリ打設が完了し、現在3階部分の建設も順調に推移している。完成部分から順次内装に取りかかる。

新病院では有事の際の電気や水・食糧の備蓄は3日間を確保し、上階での保管を想定している。

【概要】 議題2 「平成31年度の診療体制について」について

(腹部救急症例への対応について)

平成30年8月の常勤麻酔科医採用により、外科的な緊急手術への対応など、十分な診療体制が確保できている。

(循環器内科医師の確保について)

平成30年度は常勤医2名体制からスタートしたが、11月より1名増員して3名体制を整え、新年度は新たに3名の新任医師を迎え、退職者を考慮すると4名体制でのスタートとなる。引き続き医師確保に尽力していく。

(地域枠での医師確保について)

新年度より、3年目の血液内科医が着任することとなる。継続的に医師を確保する為にも引き続き実習の受入に尽力するつもりだ。佐伯地域全体で医師を育て、定着して頂ける体制を整えていく。

(DMATについて)

DMATを率いていた武内外科診療部長が平成31年3月31日付で退職されるが、後任の藤井外科診療部長がこの任を引き継ぐ予定だ。

(放射線治療について)

佐伯市は乳がんの患者さんが多いが、手術・治療については大分市を希望される。当院でも大分県立病院・大分医療センター・大分赤十字病院等へ紹介しているのが現状だ。

県内には放射線治療専門医は2名しかおらず、ニーズに対して十分な体制が整っていない。新病院建設後には、健全経営を保ちながら将来的には当院での放射線治療の実施を視野に入れている。

(新病院引越し時の対応について)

平成31年12月27日まで現病院で診療をおこない、28日・29日30日で引越しを完了させて、平成32年1月1日より新しい病院で診療を開始する予定だ。

平成31年12月21日から3週間程度、病院群輪番制の救急体制を他の医療機関へお願いすることになる。地域の住民・佐伯市医師会・行政にも大変ご迷惑をお掛けするが、どうぞご理解頂くようお願いしたい。

【概要】「その他委員からのご意見・要望」

予てからの懸案事項であった南部医療圏での新型インフルエンザ発生時の受入訓練を平成31年3月1日に南海医療センターで実施した。

南海医療センターは感染症法に定める2種感染症指定医療機関であり、新病院移設後も引き続き継続した訓練を計画するのでご協力頂きたい。

-以上-